

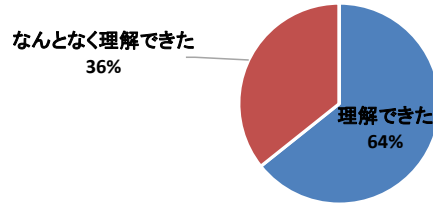
令和元年度 極楽学区民児協 在宅療養に関する勉強会 アンケート集計

日時: 令和元年8月20日(火)13時30分～
 場所: 極楽コミュニティセンター
 講師: 北川 渡 先生

研修参加人数	14 名
アンケート数	14 枚
アンケート回収率	100%

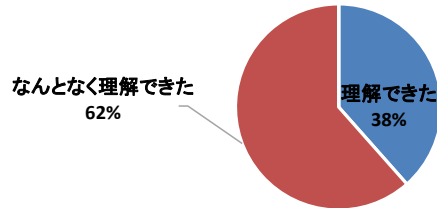
問1 在宅医療について

問1	理解できた	9
	なんとなく理解できた	5
	あまり理解できなかった	0
	理解できなかった	0
	無回答	0
計	14	



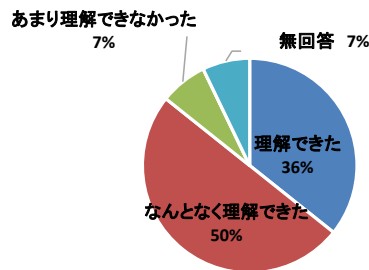
問2 ACPの内容

問2	理解できた	5
	なんとなく理解できた	8
	あまり理解できなかった	0
	理解できなかった	0
	無回答	0
計	13	



問3 在宅医療を支える訪問看護師の役割について

問3	理解できた	5
	なんとなく理解できた	7
	あまり理解できなかった	1
	理解できなかった	0
	無回答	1
計	14	



問4 今後勉強会でお聞きになりたい内容はございますか。

回答なし

問5 ご意見ご感想をお願い致します。

- ★ 父は在宅で看取り、母は認知症で現在施設です。生きている我との生活の質を落とさないことも大切だと思いました。
- ★ 癌などの病気の在宅医療はプランなどは立てられるが、認知症の場合ひとにより違うし進み具合も様々、在宅医療の困難さを感じています。

質問

- ★ 独居の認知症の方が、紹介のあった多職種のチームやサービスを利用し、在宅療養を過ごされているが、夜間の介入がない。夜間何か起こった場合はどうすればよいか？
- ★ 自宅に在宅療養に関係する職種の方が沢山出入りされるため、認知症の利用者さんが、自分の家であることを忘れてしまい、一緒に帰ると外へ出ようとしたことがあった。認知症の方への介入は、限られた人数の同じ人の方が本人にとっては過ごしやすいのではないか。